

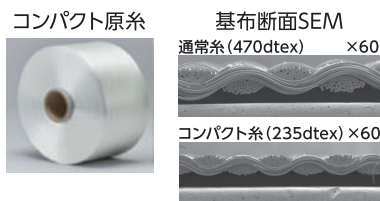
レオナ™繊維(ナイロン66繊維)と エアバッグ用基布・縫製技術

開発中
量産中

エアバッグの低パッケージ化や サステナブル社会の実現に貢献

ユーザーメリット

▶ コンパクト原糸(基布)



エアバッグにした時の効果 500N加圧時
470dtex 415cm³ 235dtex 330cm³

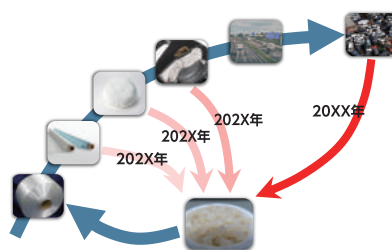


▶ リサイクル繊維基布



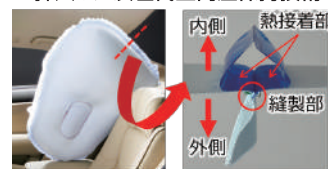
エアバッグ工程端材を利用し
リサイクル繊維基布を
開発中

将来の様々なエアバッグ廃材を活用し
サーキュラーエコノミー実現を目指します



▶ 縫製フィルム

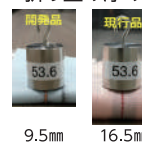
縫製部にループ状フィルムを
挿入した次世代型内圧保持技術



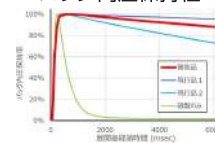
内圧保持バッグとして類を見ない低パッケージ化を実現

- ・折り畳み厚みを40%削減
- ・現行品同等の長時間内圧保持性

折り畳み厚み



バッグ内圧保持性



お客様からの声

- ▶ 原糸、基布、縫製品の製品チェーンのそれぞれに
独自技術があり、提案力に優れていると思う
- ▶ コンパクト原糸基布で、エアバッグの大型化に
対応できた。次世代の複雑形状のエアバッグ
対応でも期待
- ▶ GHG削減やサーキュラーエコノミーへの
対応を検討しており、リサイクル繊維基布の
開発に期待している

採用実績

- ▶ コンパクト原糸基布:
歩行者エアバッグに採用実績あり
(2019年～現在)

その他製品情報

競争優位性	原糸、基布、縫製からの一貫開発、供給安定性
サステナビリティ	コンパクト・軽量での燃費改善(レギュラー対比30%重量減) 廃棄原料利用でのCFP削減 将来的には廃車エアバッグからのサーキュラーエコノミー達成
背反懸念事項	独自性の高い開発のため、コストUP、バッグの設計変更、 新たにビジネスモデルの構築していく必要があることが懸念